

科目名	音楽		
教員名	小餅谷 哲男		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週 1 回	単位数	2
履修年次	1	学期	2019 年度 後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋音楽の大きな流れの中で、総合芸術とされるオペラはどのように生まれ現在まで発展してきたか、またオペレッタやミュージカルに枝分かれしていったかを理解する。 ・各時代の音楽の様式の特徴を理解する。 ・オペラ歌手の魅力、なぜその声に聴衆は熱狂するのかを理解する。 		
授業概要	<p>オペラはイタリアルネッサンス時代に生まれ、それがドイツ、フランスなどヨーロッパに全土に広まり、20 世紀には日本にもたどり着いた。オペラはどのように当時の政治と関わりを持ったのか、また時代の変遷を越えて現在まで演奏されている演目の魅力を知る。担当教員がこれまでに主演したオペラ公演やオペラの聴き所などを講義とともに視聴覚機材（出演映像なども含め）を利用し、それぞれの時代の代表作を鑑賞し授業を進める。</p>		
授業計画	<p>第 1 回 オペラとは 第 2 回 オペラの誕生：ルネサンスからバロック時代 第 3 回 ①古典派のオペラ：モーツァルトのオペラ 第 4 回 ②古典派のオペラ：モーツァルトのオペラ 第 5 回 モーツァルトの音楽が人間の身体に及ぼす影響 第 6 回 モーツァルトの人間像の考察① 第 7 回 モーツァルトの人間像の考察② 第 8 回 モーツァルトの人間像の考察③ 第 9 回 古典派のオペラ：ベートーベンのオペラ、同時代のイタリアオペラ 第 10 回 イタリアのロマン派のオペラ 第 11 回 オペラ歌手の声の魅力 三大テノール「パパロッチェ、ドミンゴ、カレーラス」 第 12 回 日本のオペラ：松村禎三「沈黙」① 原作とオペラの対比 第 13 回 日本のオペラ：松村禎三「沈黙」② 第 14 回 日本のオペラ：松村禎三「沈黙」③ 第 15 回 日本のオペラ：松村禎三「沈黙」④ 期末試験</p>		
授業方法	講義、視聴覚機器を使用した音楽鑑賞		
アクティブ ラーニング の視点	<p>明治時代に日本に西洋音楽が入り、幼稚園初等教育にも取り入れられ現在に至る。総合芸術であるオペラを学び、日本人が感じる西洋音楽とは何か、また心に響く美しさとは何かをお互いに討論し考察し合う。</p>		
授業外学習	授業内で紹介するクラシック音楽を鑑賞する。		
教科書	授業内配布		
参考書	適宜紹介		
評価方法	授業への参加度 50%、試験 50%		
既修条件	なし		